



令和5年12月4日

海事局総務課国際企画調整室

日本が国際海事機関（IMO）理事国にトップで当選しました

令和5年11月27日から12月6日まで国際海事機関（IMO）第33回総会が開催されています。11月27日（月）には、我が国を代表して國場国土交通副大臣が一般演説を行い、また12月1日（金）に実施された理事国選挙では日本がトップ当選を果たしました。

1. IMO 第33回総会の概要

IMO 総会は2年に一度開催され、今次総会は11月27日から12月6日までの予定で開催されています。総会では、各国代表の一般演説、次期理事国の選挙、予算案の審議等が行われています。

総会初日の27日には、國場幸之助国土交通副大臣が我が国を代表して一般演説を行い（演説の様子は別紙1参照）、国際海運における温室効果ガス（GHG）排出削減対策や自動運航船の早期実現に向けた取り組みをはじめとした、海事分野における日本のリーダーシップとルール作りにおけるIMOへの貢献を広くアピールしました。

また、國場副大臣はこの演説の冒頭において、日本の海運会社が運航していた船舶が紅海においてイエメンの武装勢力ホーシー派に拿捕されたことに言及し、このような行為が船舶だけでなく国際海上輸送にも深刻な脅威となるとして断固非難するとともに、当該船舶及びその船員の早期解放のため、IMO や関係諸国と緊密に連携していく旨を表明しました。

2. 理事国選挙

12月1日（金）に実施された理事国選挙の結果、カテゴリA（主要海運国）において、我が国は最多得票数での当選を果たし、引き続き2024年から2025年までの2年間理事国を務めることとなりました。

なお、今次総会でのカテゴリA 理事国選挙の得票数は以下のとおりです。

【当選】日本（146）、イタリア（146）、ギリシャ（146）、中国（145）、ノルウェー（142）、パナマ（142）、韓国（141）、英国（139）、米国（137）、リベリア（132）

【落選】ロシア（80）

3. その他

総会期間中に、國場副大臣はIMOの現事務局長及び次期事務局長（2024年1月から着任）並びに英国の運輸政務次官、ギリシャの海事・島嶼国政策大臣、インドネシアの運輸大臣及びマルタ共和国の運輸大臣との会談を実施しました（別紙2参照）。

【問い合わせ先】

海事局総務課国際企画調整室 石田、中村

代表：03-5253-8111（内線45-601、44-403）

直通：03-5253-8656



【國場国土交通副大臣による一般演説の様子】



演説を行う國場副大臣



議場の風景

【IMO の現事務局長及び次期事務局長との会談】

IMO の現キータック・リム事務局長との間で、我が国から在任期間中の功績に対する謝意を述べました。

また、次期アルセーニョ・ドミンゲス事務局長との間で、我が国の IMO の活動への協力などについて意見交換を行いました。その中で我が国としては知見、経験及び人材を活用して、引き続き IMO の活動に積極的に貢献することを表明しました。



IMO 現事務局長と國場副大臣



IMO 現事務局長との会談の様子



IMO 次期事務局長と國場副大臣



IMO 次期事務局長との会談の様子

【英国、ギリシャ、インドネシア及びマルタとの会談】

英国のデイヴィス運輸政務次官、ギリシャのスティリアニデス海事・島嶼国政策大臣、インドネシアのブディ運輸大臣及びマルタ共和国のファルツジャ運輸大臣との間で、IMOや海事分野における協力等について意見交換を行いました。



英国運輸省次官と國場副大臣



ギリシャ海事・島嶼国政策大臣と國場副大臣



インドネシア運輸大臣と國場副大臣



マルタ運輸大臣と國場副大臣